



6月21日(土)スマホ安全教室
 保護者のみなさまもお子さまと一緒にご確認ください

●スマホ安全教室の内容

6月21日(土)の登校日、兵庫県三木市にある「NIT 情報技術推進ネットワーク株式会社」の研修講師の方に、藍住東中学校と合同でオンラインによる「スマホ安全教室」を実施していただきました。内容をまとめたものを2年生のワークルームに掲示していたので、1~3年生、そして保護者のみなさまにも共有しておきます。

スマホ安全教室の内容

- ①位置情報をオンにしているということは、自分の位置がみんなに分かるということ。
- ②ネットで知った情報を鵜呑みにしてはいけない。
- ③嘘の情報を拡散することも罪になる。……嘘かどうか見分けるのは自分。難しい。
- ④SNSの世界への入場確認が厳しくなる。12歳までは入場禁止。13~17歳は保護者同伴が必要。
- ⑤スマホ、ゲームをしていると脳(前頭葉、扁桃体)がダメージを受ける。姿勢が悪くなる。
- ⑥Wi-Fiには位置情報が付いている。「誰が」「どこで」「どこに接続した」が分かる。
- ⑦LINEで入力した内容はすべて会社が情報を持っている。嘘をついても会社は開示できる。この世に削除できるデータは存在しない。
- ⑧ゲームには守るべきルールがある。利用規約を守らないことで処罰される。
- ⑨暴言やイライラ。睡眠は感情をリセットできる。
- ⑩エナジードリンクは脳を休ませてくれない。カフェインの影響。
- ⑪ゲーム内での会話や違反行為で処罰の対象となる。
- ⑫銀行口座を「売る」「買う」「貸す」「借りる」は将来の就職にも影響する。
- ⑬SNSで加害となる行為「合成写真」……高校では退学処分、除籍処分。
 「SNSへの投稿」……肖像権の侵害、子どもだけでなく保護者も注意。
- ⑭学校の先生はインターネットやSNSトラブルでは助けられない。なりすまし等を確認できるのは、弁護士や警察だけ。先生はできない。
- ⑮子どもだからと言ってなんでも「ごめんなさい」で許される訳ではない。

もちろんすでにご承知のことと思いますが、子どもからお年寄りまで様々なところでインターネットやSNSを介したトラブルが多発しています。「迷惑メールが増えて困る」という保護者のみなさまも多いのではないのでしょうか。迷惑メールかどうか分かるというのは今となってはあたり前ですが、ではじめの頃はメールを開いてしまって「どうしよう」と対応に困ったこともあったのではないのでしょうか。私は警察に相談に行ったことがあります。

本校の生徒たちも同様です。最近、LINEやInstagramを通じてのトラブルが本当に多くなっています。知っておくべきことを知らずに使用していると、または教えるべきことを教えずに使用していると、いやな思いをしたり、いやな思いをさせたり、迷惑をかけたり、事件を起こしたり巻き込まれたり、詐欺にあったり……。この「藍志」を親子で話す材料にいただけると幸いです。